大阪府河川構造物等審議会での検討の進め方

【資料1】

これまでの西大阪地区の津波対策

【想定東南海・南海地震の地震動、津波高さに基づく対策】
◆既存防潮堤の高さによる津波防御
・防潮堤の耐震対策
・防潮扉の迅速な閉鎖（電動化） など
①東南海・南海地震による津波被害対策検討委員会（H15～16）
②大阪府自然災害総合防災対策検討委員会報告書（H19.3）
③大阪府都市整備部地震防災アクションプログラム(H21.3)

東日本大震災の発生（H23.3.11）

南海トラフ巨大地震津波対策

減災を目的とした三大水門の閉鎖操作方針決定（H23.9）

現在、対策済み・実施中

津波時水門閉鎖のための対策
・全連動化
・遠隔操作化
・水門操作体制の整備
・津波対策マニュアル変更

内閣府
「南海トラフの巨大地震モデル検討会」
・M9クラスの新たな地震動と津波高の発表（H24.8.29）

大阪府防災会議（危機管理室）
「南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会」
・施設計画上の津波（L1）の設定（H24.11.21）

気象庁
「津波警報の改善」
・津波予警報等の見直し（H25.3.7）

大阪府河川構造物等審議会（H24.11～）

〔西大阪地区の津波対策に関する技術検討委員会（H23.11～）〕

【諮問】河川構造物等における津波対策の技術的検討について
①津波時の防潮施設の操作に伴う津波挙動の把握
②防潮施設の津波に対する耐力の評価と想定される二次災害
③南海トラフの巨大地震に備えた西大阪地区の津波対策

【検討事項】
津波シミュレーション（L1、L2津波）
・水門を閉鎖しない場合の津波被害
・水門の閉鎖による津波の挙動把握とその効果
水門閉鎖に伴うリスク検討
・水門の耐力評価
・水門破損による二次災害リスク
・津波反射波によるリスク
防潮施設の操作の考え方を検討
・気象庁からの津波情報
・津波情報を基にした操作 など

中間答申（H25.3.15）

今後の審議会での検討事項

凌ぐ

減災を目的とした津波対策
【水門の閉鎖対策】
・水門の破損を防止できる手法の検討
⇒水門閉鎖の迅速化

【反射波によるリスクの対応】

【二次災害リスク対応】
・洪水リスク検証シミュレーション
・高潮リスク検証シミュレーション
・二次災害防止のソフト対策
⇒気象情報、河川水位情報の基準見直し
⇒貯留施設等の有効活用
⇒情報提供
（被災後の洪水・高潮防御レベルの公表）

防ぐ

新たな津波防御対策
【新たな津波防御施設計画】
・防潮施設の耐震対策
・新津波水門（L1対応）の建設
（津波減衰施設の建設）
・粘り強い防潮堤等の対策の反映